



さくらネット

令和8年1月16日

「夢に向かって、失敗を恐れず挑戦する！」 ～最後の学期、納得いく締めくくりを～

新しい年、令和8年が始まりました。本年もよろしくお願ひします。

1月7日（水）の始業式では、皆さんの元気な姿に会えて、本当にうれしく思いました。

「一年の計は元旦にあり」新しい年を迎えるにあたり、目標を新たにしたことと思いますが、皆さんには、ぜひその思いを大事にして、今年も前向きな挑戦を続けてほしいと思います。自分の夢に向かって、失敗を恐れず、諦めることなく、今やるべきことに精一杯取り組んでいきましょう。

1年の始まりですが、学校の3学期は、1年間の締めくくりであり、次のステージに向けての重要な準備期間です。期間は短いですが、とても大切な学期です。皆さんには、次のステージを見据えながら一日一日を充実したものにしてほしいと思ってます。そしてこの3学期を、一人ひとり、納得いく形で締めくくってください。

3年生にとって、中学校生活最後の学期です。今まで共に頑張ってきた仲間との残り少ない貴重な時間を、大切に過ごしてください。入試も目前になりました。緊張感も高まる時期ですが、2学期の終わりにも言ったように、今やるべきことは、自分が納得いくだけの確かな準備です。みんなで、励まし合い、高め合って、それぞれの夢をしっかりとつかんでください。

2年生はもうすぐ最上級生になります。学校の顔としての自覚と、強いリーダーシップを期待しています。進路に対する意識も高め、将来の目標に向けて、具体的な行動を起こす学期にしましょう。

1年生は、これまで、様々な経験を通して大きく成長しました。4月には新入生も入ってきて、今とは立場や役割が変わってきます。先輩になる準備としても、今学期を大切にしてください。

今年は午年。この1年が、皆さんにとって飛躍の年となることを願っています。



保護者の皆様へ

昨年は、様々な場面で多大なるご理解・ご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

始業式前日1月6日の地震には驚かされましたが、「自然の脅威は身近にある」ということを再認識すると同時に、そんな中でも通常通り学校の活動が進められることのありがたさも改めて感じているところです。

令和7年度もいよいよ最後の学期となりました。それぞれの学年をきちんと締めくくり、次のステージにつながる学期になるよう、私たち教職員一同、精一杯生徒を支えて参りたいと存じます。ご家庭におかれましても、お子様に温かい励ましの言葉をかけて頂けますと幸いです。

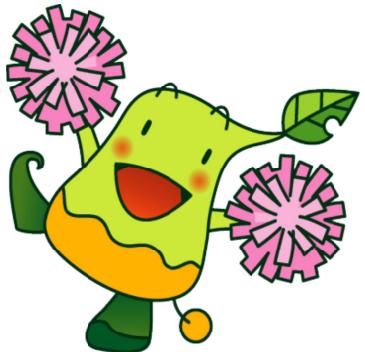
改めまして、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



3年生、頑張れ！！～入試が始まりました～

すでに一部の高校では入試が行われ、今月22日（23日）には、県内の多くの私立高校で一次入試が行われます。2月になると県立高校の特別入試、3月には一般入試と続いていきます。いよいよ始まりました。一人ひとり、受験する高校も、タイミングも異なります。ここからは個人の闘いです。「時間」は限られていますが、まだ間違いなくあります。自分が納得いくだけの準備をして、当日を迎えてほしいと思います。そして、当日は存分にその成果を発揮してください。

個人の闘いとは言いましたが、決して一人だけの闘いではありません。応援してくれる人はたくさんいます。同じ思いで頑張る友達もいます。共に励まし合って、最後まで粘り強く頑張りましょう。



面接練習も行いました

入試に先立ち、1月15日（木）には、3年生全員に面接練習を行いました。1・2年生の教員が中心となって面接官を担当し、6つのグループで実施しました。

どの生徒も真剣に面接に臨み、聞かれることに一生懸命答えていました。一人ひとりにかけられる時間は限られていきましたが、本番に向けていい機会となったのではないでしょうか。

緊張で思うように話せなかったという人もあるかもしれません、真剣に向き合う姿勢があれば大丈夫です。これから入試で、しっかりと自分を表現してください。



1・2年生も応援しています～生徒会の取組～



入試に向けて頑張る3年生を、1・2年生も応援しています。生徒会のアイデアで、受験生に幸福をもたらそうと、この度獅子が登場しました。1月14日（水）には3年B組、15日（木）には3年A組を訪れ、生徒会役員の激励の言葉のあと、3年生一人一人の頭をかんで回りました。昔から獅子に頭を噛まれるのは縁起の良いこととされ、健やかな成長や学力向上を願う意味もあると言われます。3年生には、いろいろな人の応援や励ましを力にして、頑張ってもらいたいと思います。

本校生徒会では、これまで総務役員が中心となって3年生を応援する取組を行っていましたが、今回はまた新しい発想でした。これから多くのアイデアを出しながら、生徒会活動をもり立ててくれることを期待します。

また、1・2年生も自らの進路についてしっかりと考えていくってもらいたいと思います。